



2018年度（平成31年3月期）

決算補足説明資料

2019年5月9日

ぴあ株式会社

東京証券取引所市場 第一部

証券コード：4337

[1]2018年度 業績の概要

1)決算のポイント

2)業績

3)中期経営計画(2018~2020年度)の骨子

4)主な取り組み

[2]2019年度 業績予想及び配当予想

[3]中期経営計画(2018~2020年度)の数値目標



1) 決算のポイント

当社グループ通期連結業績のポイントは以下の通り。

- 1) 音楽、スポーツ、イベント、映画ジャンルを中心にチケット販売が好調に推移し、売上高は最高値を更新。営業・経常・当期利益も増益で着地。
- 2) 「Mr.Children」「松任谷由実」「シルク・ドゥ・ソレイユ・キュリオス」等の大型興行に加え、プロ野球やサッカーなどのスポーツジャンルが好調を牽引。「神宮外苑花火大会」や「PMC(ぴあフェス)」等の主催興行の活況も要因。
- 3) 配当は、配当性向30%の指針に基づき、前年度から4円の増配。

2)業績 ①期初予想との比較

チケット流通事業が音楽を中心に全ジャンルで伸張し、
期初予想から、売上高・利益ともに良化。

【連結】 期初予想との比較

[単位:百万円]

	期初予想 (昨年5/9発表)	2018年度 実績	期初予想との差
売上高	165,000	179,969	+14,969
営業利益	1,250	1,377	+127
経常利益	1,200	1,348	+148
親会社株主に帰属する 当期利益	700	817	+117

2)業績 ②前年比較



市場の活況とインターネット販売の伸張を受け、業績は好調に推移。前年度比も二桁増の着地。

【連結】 前年比較

[単位:百万円]

	前年度	2018年度	前年比
売上高	163,509	179,969	+10.1%
営業利益	1,225	1,377	+12.4%
経常利益	1,173	1,348	+14.9%
親会社株主に帰属する 当期利益	706	817	+15.9%

2)業績 ③連結損益計算書（要約）



[単位:百万円]

	【前年度】	【2018年度】	【前年度差】
売上高	163,509	179,969	+ 16,459
売上原価	150,772	164,965	+ 14,192
差引売上総利益	12,737	15,004	+ 2,267
販管費	11,511	13,626	+ 2,114
営業利益	1,225	1,377	+152
営業外収益	15	46	+31
営業外費用	66	75	+8
経常利益	1,173	1,348	+174
特別利益	8	—	△8
特別損失	—	—	—
税引き前当期純利益	1,182	1,348	+166
法人税等合計及び非支配株主利益	476	530	+53
親会社株主に帰属する当期純利益	706	817	+111
包括利益	750	828	+78

2)業績 ④連結貸借対照表 (要約)



[単位:百万円]

資産の部		
	【前年度】	【2018年度】
現預金	18,582	25,206
売掛金等	25,287	20,759
商品等	134	167
その他	2,941	3,718
流動資産：前年度比3,152増加		
流動資産	46,698	49,850
有形固定	1,359	4,435
無形固定	3,911	4,517
投資その他	3,518	3,895
固定資産：前年度比4,059増加		
固定資産	8,789	12,848
資産合計	55,488	62,699

負債の部		
	【前年度】	【2018年度】
流動負債：前年度比5,017増加		
流動負債	47,597	52,614
固定負債	561	3,483
負債合計	48,158	56,098
純資産の部		
資本金	4,903	4,924
資本剰余金	1,084	1,105
利益剰余金	3,796	4,431
自己株式	△2,488	△3,904
他包括利益	△43	△44
非支配株主持分	77	88
純資産合計	7,329	6,601
負債純資産合計	55,488	62,699

2)業績 ⑤連結キャッシュフロー計算書（要約）



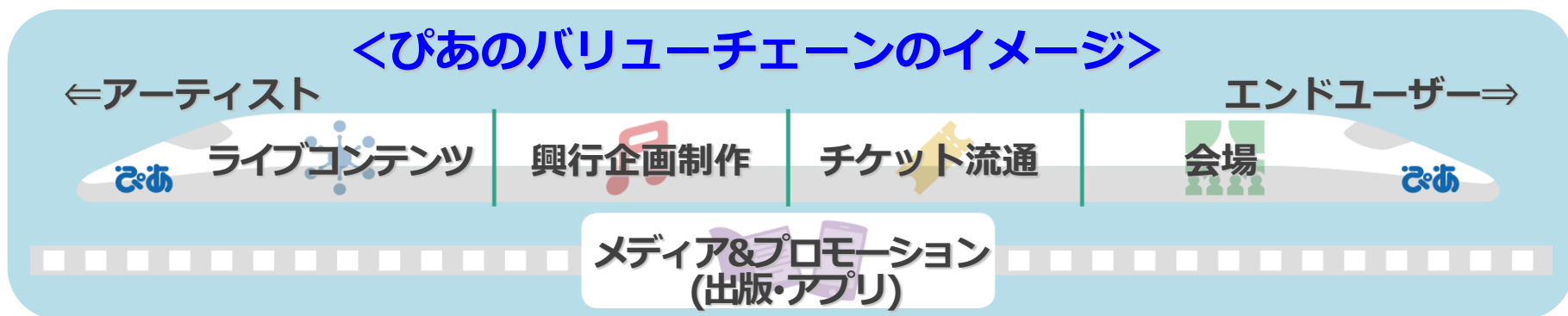
[単位:百万円]

	【前年】	【2018年度】	【前年度比】
税引き前当期利益	1,182	1,348	+166
減価償却費	811	1,323	+512
売上債権の増減	△8,273	4,527	+12,800
仕入債務の増減	15,196	△2,065	△17,261
その他	△2,500	5,625	+8,125
利息・税金等	△563	△221	+342
営業キャッシュ・フロー	5,852	10,537	+4,685
無形固定資産の取得	△1,521	△1,933	△412
その他	△2,510	△3,147	△637
投資キャッシュ・フロー	△4,031	△5,080	△1,049
財務キャッシュ・フロー	△2,089	1,166	+3,255
キャッシュの増減	△268	6,623	+6,891

3) 中期経営計画(2018~2020年度)の骨子

- ① ライブコンテンツの供給からユーザー体験までをトータルに提供できる、ぴあならではのバリューチェーンの成立を目指す。

<ぴあのバリューチェーンのイメージ>



- ② 2019年のラグビーW杯や、2020年の東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする、大規模な国際的イベントのチケット팅オペレーションの成功を通じて、国内外におけるぴあのブランド価値を高める。
- ③ 新規事業・サービスの開発、女性の視点をふまえた働き方改革を推進するとともに、中長期的な事業戦略を策定する。

4) 主な取り組み

①ぴあバリューチェーンの成立 に向けた取り組み



ライブコンテンツ

興行企画制作

チケット流通

会場

メディア&プロモーション

コンテンツ保有者等との関係性の強化を継続。興行事業は、収益拡大のため大型興行へのアプローチを強化。

©METROCK 2018 All Rights Reserved



◆METROCK2018
OSAKA・TOKYO



◆PMC(ぴあフェス)

©日刊スポーツ新聞社



◆神宮外苑花火大会



◆あんさんぶるスターズ! DREAM LIVE



◆大相撲仙台場所



◆神宮球場リレーマラソン



◆S20 Japan Songkran
Music Festival



◆au x PIAの
「uP!!!FESTIVAL2018」

4) 主な取り組み

①ぴあバリューチェーンの成立に向けた取り組み



ライブコンテンツ

興行企画制作

チケット流通

会場

メディア&プロモーション

「チケットぴあ」のサービスを随時強化。高額転売対策に向けて、あるべき2次流通市場の検討をスタート。



チケットの流通・分配機能を行う「クロークサービス」を開始



「チケトレ」はエンタテインメントを楽しみたい人のための公式チケットトレードリセールサービス

「チケトレ」は2017年5月にオープン。12月のチケット転売規制法成立に伴い、更なる浸透を目指す

4) 主な取り組み

①ぴあバリューチェーンの成立に向けた取り組み



ライブコンテンツ

興行企画制作

チケット流通

会場

メディア&プロモーション

各社とのアライアンス連携も深化。ソリューション連携に加え、協業の強化にも取り組む。



アライアンス先各社との連携も引き続き継続



三井物産、ヤフーとの協業で、価格変動制チケット販売を行うダイナミックプラス社を設立



スポーツソリューション事業も好調



◀2018年11月、吹田スタジアムでスタジアムサービスの実証実験を実施

チケットレスサービスの実験もスタート

4) 主な取り組み

① ぴあバリューチェーンの成立 に向けた取り組み



ライブコンテンツ

興行企画制作

チケット流通

会場

メディア&プロモーション

「ぴあアリーナMM」は、2020年春開業に向け、音楽専門アリーナの特徴を活かしたプランに沿った準備を進行中。

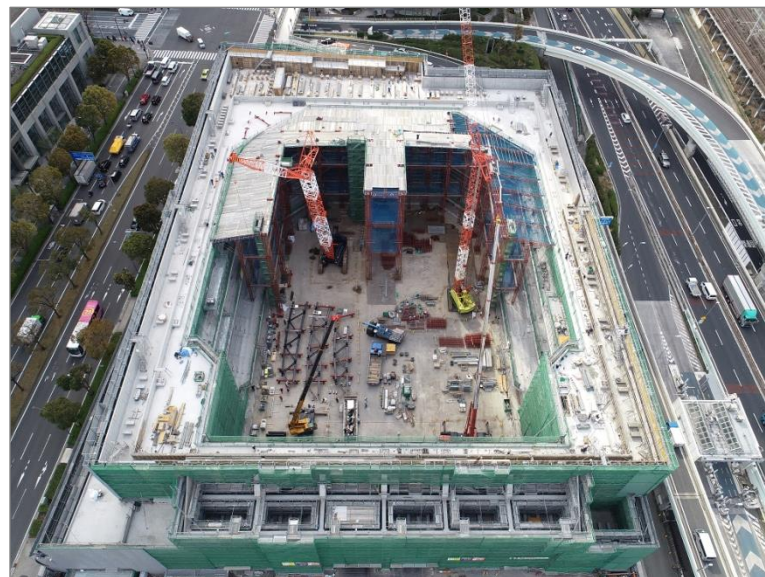


▲完成イメージ

建設・仕様のプランニングは着実に進捗。昨年10月から開始した貸館予約の受付も順調

ぴあアリーナMM

▲ロゴイメージ



▲最近の建設現場の様子

4) 主な取り組み ①ぴあバリューチェーンの成立に向けた取り組み



ライブコンテンツ

興行企画制作

チケット流通

会場

メディア&プロモーション

ぴあ(アプリ)を11月に本創刊。ダウンロード数は順調に増加中。
(50万DL※2019年4月末時点)



偶然の出会いと発見を創り出していた雑誌『ぴあ』の世界観を再現。多彩な機能も好評

ぴあ のいいところ ①

ぴあなら、
「いつ、どこで、なにを?」を
入れるだけで、観たいエンタメが
サクッと見つかる!



ぴあ のいいところ ②

ぴあなら、
大切な情報を逃さずチェック!
自分の「みたい、みた」
リストも残せます!



ぴあ のいいところ ③

ぴあでしか読めない
コラム満載! しかも
あのひとが、おすすめの
エンタメを教えてくださいます!



ぴあ のいいところ ④

ぴあを見せるだけで、
いつもの映画館も、
ドーンと割引
美術館も、演劇も、割引きます!



4)主な取り組み ①ぴあバリューチェーンの成立に向けた取り組み



ライブコンテンツ

興行企画制作

チケット流通

会場

メディア&プロモーション

出版事業ではMOOKから派生した立体的な企画を推進。旬の話題を捉えたライブ・エンタテインメント関連本を多く販売。



◀人気書籍『パンダと犬』の期間限定グッズショップ



◆田中圭さん 写真集



◆川田裕美さん エッセイ本



◆青学原晋監督初のコミカライズ本

▶3月に開催した「パンのフェス」は13万人を動員



上記イベント等、出版販売以外での収益獲得の成功事例も増加



◆大人計画創設30周年記念本



◆アニメぴあ Shin-Q vol.6



◆「あしたのジョー」DVD BOOK

4) 主な取り組み ② 国際的イベントへの取り組み



「ラグビーW杯2019」、「2020東京オリンピック・パラリンピック」の開催に向け、チケット販売業務を全面的に受託。



▲2018年8月の「釜石鶴住居復興スタジアム オープニングDAY」の様子

9月～11月まで日本全国12会場で行われるラグビーW杯2019のチケット販売も好調



2020東京オリパラはチケットサイトを4/18にプレオープン。5/9にはいよいよ抽選申込受付を開始

4) 主な取り組み ③ 新規サービス、働き方改革、中期事業戦略



・ PGE(ぴあグローバルエンタテインメント)は北京・上海をはじめとする中国都市部や、台北、香港などで興行を実施。

今後は、興行の展開を東アジア・東南アジアにも拡大予定



◆久石譲コンサート
(重慶、成都)



◆東野圭吾原作「手紙」
ミュージカル(上海)



◆DRUM TAO 舞響
(北京、天津)

・ 昨年6月に就任した女性取締役を中心に、当社女性へのグループヒアリングを実施。

そこでの課題についてプロジェクト化を見据えた活動を継続するほか、残業時間の抑制、有給休暇の消化率アップのための施策も推進



▲2018年7月の全社イベント「創業記念祭」

・ 戦略企画室・研究開発室を発足。次期中期事業戦略の骨子を策定中。

4) 主な取り組み ～社業を通じた社会的活動～



ぴあフィルム
フェスティバル
が40回目を開催



各界の著名人を被災地に招く
「わたしの夢」応援プロジェ
クト」も継続中



▲第40回PFFの授賞式の模様



PFFアワード2017グ
ランプリ「わたしたち
の家」(監督: 清原 惟)
が、中国最大の映画
祭・上海国際映画祭に
て最優秀監督賞を受賞



Vol.16 渡辺貞夫さん
(宮城)



Vol.18,19
茂木健一郎さん、柳家
花緑さん(福島・岩手)



Vol.17 川淵三郎さん
(福島)



Vol.20 乙武洋匡さん
(福島)

[2]2019年度 業績予想及び配当予想



中期経営計画の2年度目。投資拡大を図るも前年並みの業績を維持。

[単位:百万円]

【連結PL】	【2018年度実績】	【2019年度予想】
売上高	179,969	180,000
営業利益	1,377	1,450
経常利益	1,348	1,400
当期利益※	817	820
1株あたり配当金	20円	20円

※親会社株主に帰属する当期純利益です。

[3]中期経営計画(2018~2020年度)の数値目標



中期経営計画の数値目標

【連結ベース】

[単位:億円]

	2018年度		2019年度 計画	2020年度 計画
	計画	実績		
売上高	1,650	1,799	1,800	1,800
営業利益	12.5	13.7	14.5	18.0
経常利益	12.0	13.4	14.0	17.0
税前当期利益	12.0	13.4	14.0	17.0
当期利益※	7.0	8.1	8.2	11.0
償却前営業利益	27.0	27.0	29.0	33.0

※親会社株主に帰属する当期純利益です。